

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年10月01日

計画の名称	山形市における災害にまけない強靱な下水道の構築（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	山形市												
計画の目標	地震や大雨等の災害にまけない下水道を整備し、安全・安心な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	788	A	783	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.63	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R4末)
1	浄化センターの電力自給率を65.0%（R2）から70.2%（R4）に増加させる。 浄化センターの電力自給率（%） 浄化センター電力発電量（kw）/場内使用量（kw）	65%	70%	70%
2	管路施設（汚水）の耐震化対策達成率を33.0%（R2）から33.8%（R4）に増加させる。 管路施設（汚水）の耐震化対策達成率（%） 耐震管きょ延長（m）/管きょ総延長（m）	33%	33%	33%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	山形市	直接	山形市	管渠(汚水)	改築	管路施設の改築(老朽化対策)	管渠更生 200mm~300mm L=5.0km、マンホールポンプ等更新 N=3基、管渠改築診断調査 L=57km	山形市						347		策定済	
	A07-002	下水道	一般	山形市	直接	山形市	管渠(汚水)	改築	管路施設の耐震化	汚水管 管渠更生工法ほか 200mm~250mm L=0.8km 人孔浮上防止 N=84箇所	山形市							103		策定済
	A07-003	下水道	一般	山形市	直接	山形市	終末処理場	改築	処理場施設の改築(高率)	濃縮汚泥掻寄機、燃料電池長寿命化、操作盤等電機設備	山形市							262		策定済
	A07-004	下水道	一般	山形市	直接	山形市	終末処理場	改築	処理場施設の改築(低率)	ストックマネジメント計画策定、消化ガス発電設備設計、最終沈殿池設備ほか実施設計	山形市							69		策定済
	A07-005	下水道	一般	山形市	直接	山形市	ポンプ場	改築	ポンプ場施設の耐震化	管理棟(工事)	山形市							2		策定済
										小計							783			





事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証した。	令和6年度（整備計画の完了年度の翌年度）
	公表の方法
	市上下水道部ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>汚水管路施設についてはストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく改築診断調査や耐震化が進んでいる。山形市の汚水管総延長に対する耐震化達成率は33.0%（R2当初）から33.7%（R4末）に増加した。</p> <p>処理場については、施設・設備の更新により災害に強い施設になった。併せて処理場施設の長寿命化対策も実施し、災害時でも安定して汚水処理が可能となることから、安心・安全な暮らしの実現に寄与した。</p> <p>ポンプ場施設については、耐震化を実施した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
改築診断調査によって対策が必要と判明した管路施設について、ストックマネジメント計画に基づき改築・修繕を行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浄化センター電力発電量（km） / 場内電気量（km）	
	最終目標値	70%
	最終実績値	60%
2	耐震管きょ延長（m） / 管きょ総延長（m）	
	最終目標値	33%
	最終実績値	33%